



新年あけましておめでとうございます！

お正月といえばおせち料理ですね！良い一年のスタートを切れるように、意味と味をしっかりと噛み締めて、いただきましょう！一部ではありますが、ご紹介します。

# 謹賀新年

寅

HAPPY NEW YEAR 2022



### 紅白なます

紅白でめでたく、祝いの水引にも通じます。また、根菜のように深く根をはるようにと願います。



### エビ

長生きの象徴です。えびのように腰が曲がるまで長生きすることを願い、正月飾りやおせち料理に使われます。



### 煮物(レンコン)

穴があいていることから、将来の見通しがきくようにと願います。



### 栗きんとん

栗は昔から「勝ち栗」と呼ばれる縁起もの。きんとんは「金団」と書き、黄金色に輝く財宝にたとえて、豊かな1年を願う料理です。



### 伊達巻

形が巻物に似ているため、知識が増えるようにとの願いが込められています。



## 2022年を迎え

森 直樹 (代表取締役社長)



間もなく新年を迎えます。2021年を振り返ると、コロナ禍で日々変わる情勢と、その中で日々を変わず過ごすという不安定な一年でしたが、この終息までまったく先が見えないという不安な意識よりもむしろ、まだ数年、この状況が続くとしてもこれ以上の変化は無いという見極めができたのではないのでしょうか。海外はさておき、少しずつ人流が戻り、今後景気が回復して行くことを願っております。

そしてコロナ禍以上に、SDGs という枠組みの中でプラスチック全般を取り巻く環境が変化していることが、大きな影響を与えることとなりそうです。過去に塩ビがバッシングを受けた事は何度かありますが、プラスチック全体が問題になるという状況は過去には無かったと思います。既に代替可能な物は別の素材に取って代わり、使用を控える事ができる物は使用中止と必要最低限に、また、単一樹脂のプラスチックではなく再生材やバイオマス材の配合により環境配慮がうたえる素材を使用することが見込まれています。また環境省が「プラスチック資源循環促進法」を制定し来年4月よりの施行予定です。この法律は、プラスチックを使用する製品の設計、使用、処理の全般において、リデュース、リユース、リサイクルその他の再生を促進するための法律です。国が主導でこういった取り組みを推し進める中、消費者のプラスチックに対する意識の変化により環境配慮設計の商品が市場に続々と出てくることになり、2022年は様々な変化が起こる年ということが予想されます。そのような状況の変化は、既存の企画、材料、商品が変わらざるを得ないことになる反面、新しいものが市場に受け入れられるチャンスとも言えます。そういった意味では変化という波に対して、それにどう乗るかという試行錯誤の一年となりそうです。2022年も宜しく願い申し上げます。

## 危険です。ヒヤリ

光田 昭男（営業部）



冬になると出勤と帰宅時には外は暗く、運転時での視界がとても悪くなっています。特に、雨の日などでは交差点での歩行者が見えにくく、冬の服装は黒色が多いですね。ある日、交差点内の横断歩道で、中央分離帯に植樹がしてある片側四車線の大きな交差点の中央部分で、全身黒色で、傘までも黒の女性と接触しそうになってしまいました。右折時では右側はライトが届かない為、周りと同化してしまい、とても危険と毎回感じます。早朝であれば、歩行者も少なく、気を抜いて走行すると危険が待っています。特に気を付けなければならないのが、右折での矢印信号です。歩行者は点滅していてもなんとか渡ろうとしてきます。運転手側は、矢印信号が出ているうちに交差点をやり過ごすことを考えます。そしてスピードが自然と上がってしまいます。歩行者死傷事故発生地点を調べてみました。交差点が45.5%、交差点付近8.5%でした。今では車両メーカーも安全対策をいろいろと考えています。交差点での右折時の直線対向車や、右左折時の歩行者、横断する自転車への衝突回避もサポートが進歩しているようです。小さな交差点での見えづらい前側方から接近するクルマを検知して警告。危険時はブレーキまでサポートするので、見通しの悪い交差点も安心なようです。私も高齢化の仲間入りとなっています。交差点など歩行者に注意をしたいと思います。「運転は 一に慎重 二に慎重 三四も慎重 五も慎重！」2021年は追突されてしまいました。2022年は事故が無いよう心掛けます。

## 「オカムラ」の「コロナ渦勝ち組」の大変身

伊東 郁二（特販部）



「新型コロナの発生」により、リモートワークの浸透・オフィスの縮小・地方に本社を移転する企業の急増など、働き方が大きく変わっている。通常であれば大打撃を受けるはずの「オフィス家具オカムラ」が、「過去最高益」を叩き出したTVを見て「何で？」と思った。『スピード感を上げて「効率的なオフィス活用法」と「新たな働き方を模索」している企業』に対し、いち早く『「オフィス家具販売」から「働きやすい最適空間の提案」にシフトしたこと』が認められ、「オフィス開拓の提案力」で大成功した内容であった。固定デスクの排除・オープンスペースで社員が仕事をする。机や椅子は可動式で、オフィス内にあるカフェやラウンジでは気軽にふらりと集まった社員同士が新しい事業構想を語り合う。そんな時代に適したオカムラの提案力は、レストランやホテルの様なオフィスばかり。働く社員からも、「オフィスに行きたい」と言わせるのである。1980年にオフィス研究所を設立している。40年間で蓄積したデータ・情報量・ノウハウ・多くの検討がされていたことで、結果、同業の中でもいち早く企業のオフィス変革が出来たのだと思う。更には、自社オフィス「CO-EN（交縁）ラボ」を試験オフィスとして社員が利用し、オカムラが考える最新オフィス事例を目指している。全てが善の流れで正に「鬼に金棒」である。2020年6月に開設し、会議室の代わりに柵で仕切られた半個室・電話ボックスのような個室スペース「テレキューブ」の人气が絶好調の様だ。「差ではなく違いで売れ」との社長の言葉に感銘を受けた。『100メートル走で新記録を出してもそのうち誰かが破る。それは100メートル走という競技の中の「差」だから。私たちがつくらなくてはならないのは「違い」。それは、特徴・ブランド・新たな市場のことで、「違い」をつくれれば、誰も追いつけない』との意味だそう。あと数年で物？企画？…何か「違い」を作りたいと感じたTV番組でした。

## SDGs 目標 3 すべての人に健康と福祉を

河嶋 桂子 (東京オフィス)



この業界でも良く耳にする SDGs。文明の発展に伴い、人類が直面している様々な問題を解決するべく、SDGs は、17 の目標が掲げられています。その中で、ゴール 3 「すべての人に健康と福祉を」にも繋がる活動が節目を迎えていると友人が知らせてくれていたので、紹介したいと思います。今年エイズ流行 40 周年、そしてエイズ対策への支援の連帯を示すレッドリボン 30 周年にあたるそうです。新型コロナウイルス感染症というもう一つの新興感染症のパンデミックが拡大し、世界も日本も大きく動揺した今、改めて考えてみる良い機会かと思いました。1991 年ニューヨークのイーストビレッジで、ビジュアル・エイズというグループのアーティストたちが、小さな会合を開きました。エイズで亡くなった人を偲び、厳しい病と闘う人やケアに当たる人への励ましと思いやりの気持ちを示すシンボルを作るための会合です。ニューヨークのアーティストの間でも当時多数がエイズで亡くなっており、次は自分が感染するのではという恐怖から、感染している人を遠ざけ、話題にすることすら避けるような社会的雰囲気を生み出していました。現在の社会の雰囲気と少し似ていますね。その中で HIV/ エイズについて人々が話を出来るようになるきっかけのシンボルとして、レッドリボンが誕生しました。今では国連や各国政府もレッドリボンを重視しています。乳がんのピンクリボンなど、他の疾病や社会問題のキャンペーンでも色違いのリボンが登場しています。



さて、この機会に何問正解出来るか、試してみてください。

Q1.HIV とエイズは同じ意味？ YES/NO

Q2. 間違っているのはどれ？ ①エイズ患者②HIV 感染者③エイズ感染者

Q3.HIV に感染したらすぐにエイズを発症する？ YES/NO

Q4.HIV に感染したら自覚症状があるので自分で感染が分かる？ YES/NO

Q5. 感染するのはどれ？ ①キス②くしゃみ③汗④風呂やプール⑤蚊に刺される

12 月 1 日は、「世界エイズデー」です。ウイルスによって隔てられた人との距離を物理的には受け止めつつ、その分断を乗り越え、信頼の絆を取り戻していく、それが可能である事を考える良い機会になりました。

正解は、Q1.NO Q2.③ Q3.NO Q4.NO Q5.どれも感染しません

## 少しゾットする都市伝説

加藤 俊輔 (裁断部)



この近年、自分は都市伝説を聞くのが好きでその中でも年月を経てビックリすることや、ゾットすることが多々ありました。その中でも 2019 年に放送されていたもので未来予知がされていました。その話は幻の徳川 16 代将軍のお話。徳川将軍は 15 代と習っていましたが、実は 16 代将軍になるはずだったということ。15 代将軍は慶喜ですが、当時 1 番血縁関係が近いのは家達 (いえもち) だったがまだ 3 歳だったため一度慶喜にしておき大人になったら政権を渡そうと考えて 15 代を慶喜に任命した。しかし家達は将軍になることはなかった。なぜならその前に慶喜が政権を明治政府に明け渡し (大政奉還) 歴史に名を残せぬまま終わってしまう。だがその数年後歴史に名を残すチャンスがやってくる。今で言う東京都知事任命に名が上がる。江戸を治めていた徳川が再び江戸を治めることで歴史に名が残せると思っていたが、勝海舟が徳川がまた政治をするなら国を背負ってほしい、だから家達はまだまだと反対され叶わず。それから 20 年後再び総理大臣任命に名が上がりチャンスが来るが、今度は徳川一族に反対されてしまう。もう一度政治のトップに徳川が立ちまた失敗したら徳川の立場がないとネガティブになっていて猛反対されてしまいまたも辞退する。それからさらに時が経ち人生の終わり際にまたまたチャンスが来る。今度は東京オリンピック。東京でオリンピックが開催されることが決まり、オリンピック組織委員会というのが出来て会長に任命される。これを成功させたらアジア初のオリンピックを成功させたとして国際的に名を残すと思っていたが残念なことにこの東京オリンピックは中止となる。原因は日中戦争なのですが、そこから第二次世界大戦に発展し 1940 年幻の東京オリンピックとなったのだ。皮肉にも開催するはずだった 1940 年に家達は亡くなってしまう。そしてその後徳川家は急速に力を失くし家達の死後徳川家の敷地を国に買収されてしまった。将軍になれず、都知事になれず、総理になれず、オリンピックも開催できず、土地も奪われた家達の度重なる不運の数々、そして奪われたその土地は今で言う千駄ヶ谷。そしてその千駄ヶ谷では 2019 年現在 2020 年の東京オリンピックに向けて新国立競技場が建設されていた。怨念の家達の土地にメイン会場が建設されている。果たして 2020 年無事オリンピックが開催できるのか、家達の怨念が開催をできなくするのか…。というお話がまだコロナが出る前から言われていた。現に 2020 年のオリンピックは延期となった。延期が決まりこの話を思い出して見直すと『おおーすげー』となった。このような偶然の一致はまだ色々あって 9.11 同時多発テロもまた予言されていたという話がある。もし興味ある方は是非見ていただくと面白いかもしれません。

# PVC Award 2021

「生活を豊かにするPVC製品」をテーマとして開催されました  
PVC Award 2021\*にて、当社製品バイオマスデスクマットが入賞いたしました。



## バイオマスデスクマット

植物由来の材料を原料の一部に使用することで、  
石油由来原料の使用量削減を図り、3Rのさらなる  
推進のため開発した環境配慮型のデスクマットです。

透明ながら光学マウスの使用に対応しており、  
グリーン購入法にも適合しております。

\*「PVC Award 2021」は、PVC（塩ビ）素材の優れた特長を活かして、  
生活の利便性向上、環境配慮・リサイクル・安全・防災など  
社会のニーズに応える商品を公募するコンテストです。

## 新しい家族

野間 秋子 (森松産業)



2年前、我が家に新しい家族を迎えました。ミックス犬の男の子です。名前はレオと付けました。ずっと犬を飼いたいと思いがなかなかきっかけとタイミングがなく、子供にも欲しい欲しいと言われながら先延ばしにしていました。ある時、ペットショップのホームページを見たら少し大きく成ってしまった子犬たちがお手頃な価格で販売されていました。もともと、小さな子犬を長い時間お留守番させることが心配なこともありためらっていたので、少し成長している子犬を格安で我が家へ迎えることが出来るのは願ったり叶ったりなことでした。私はその子犬たちのなかで、真っ白な男の子に一目惚れしました。トイプードルとマルチーズのミックスで生後4ヶ月でした。さっそくペットショップへ会いに行きました。目をキラキラさせたとても可愛い子犬で、4ヶ月といってもまだまだ小さく、誰にも見初められずまだお店にいるのが不思議なくらいでした。その場で即決し、1週間後に我が家へ迎え入れました。毎日の散歩やご飯、寝る時間など、レオ中心の生活になり、ドックセラピーという言葉がある通り、家族みんなの癒しになりました。レオはとても単純な性格でオモチャを投げては取りに行く遊びが大好きです。そしていつも誰かに構っていて欲しい構ってちゃんですが、待てと言われればいつまでも待ての出来る賢い犬です。ですが犬なのに散歩が下手です。車や周りの物音が恐くて立ち止まってばかりですし、人が大好き過ぎて散歩中すれ違う人全員に気を取られてはまた立ち止まり、なかなか前に進むことができません。また、近所の犬が家の前を通ると家の中から勇ましく吠えるのに、散歩で会うとしゅんとして尻尾を下げてしまいます。そんな内弁慶で愛嬌のある可愛いレオとの縁にとっても感謝しています。最近レオにも弟か妹がいると楽しいだろうと、もう一匹犬を飼いたい欲が出て来ています。家族には反対されているので、またきっかけ、タイミングを待ちたいと思います。

